

信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 構内ステーション農場の2020年気象データ

鈴木 純^{***}・小林 元^{***,***}・木下 渉^{***}・春日重光^{***}

*信州大学学術研究院農学系

**農学部森林・環境共生学コース

***信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

I. はじめに

信州大学農学部構内ステーション農場の2020年気象観測データを公開する。

II. 気象観測の方法

2.1. 気象観測所

現在の農学部気象観測は、構内ステーション農場の牧草地内に設定した露場である^{1, 2)}。

2.2. 観測項目ならびに観測測器

気象観測項目は、既報¹⁾のとおりである。

なお、AMeDAS伊那の雨量データと比較して構内のデータが著しく少量であった3~6月については、雨量計に土砂が入り込んでいたことから欠測とした。欠測データの取り扱いは既報²⁾により、統計期間の20%以上の欠測のデータは数値の右に「 `]`」を表示し、期間を通して欠測した場合は「 `///`」であらわした。

III. 2019年の構内ステーション農場の気象概況

表1は2019年の気象年報である。3~6月の雨量の欠測によって、年データのあつかいには注意を要する。年降水量は982.0 mmであった。年平均気温は11.3℃、最高気温（最高の極値）は2020年8月20日14時06分に記録した34.7℃、最低気温（最低の極値）は2020年2月7日4時21分に記録した-12.0℃であった。また湿度は、2020年4月9日16時21分に年間の最低値13.8%を記録した。千野ら³⁾による信州大学農学部の気温の平年値（1953~82年）と比較すると、年平均気温は平年値の10.7℃を0.6℃上回り、年平均最高気温は平年値の16.5℃を1.2℃上回り、年平均最低温度は平年値の4.9℃を0.9℃上回っ

た。

表2は2020年の気象月報である。7月の降水量453.5 mmは、千野ら³⁾による7月の最大値437.0 mmを上回った。また月平均気温の平年値（1953~82年）と比較すると1~3月の冬期間の高温傾向が著しく、1月1.7℃（平年値-1.5℃）、2月1.3℃（同-0.4℃）、3月4.6℃（同3.2℃）で、1,2月が0℃以上であった。この平年値と比較した高温傾向は、2019年の8月以降に始まり、2019年の各月の月平均気温の平年値との差異は、8月+0.9℃、9月+1.5℃、10月+2.5℃、11月+0.6℃で12月は+1.1℃であった⁴⁾。湿度は、前出の7月の降水量の多さを反映して、7月の月平均最高湿度が100%（99.96%）を記録した。

引用文献

- 1) 鈴木 純・小林 元・木下 渉・春日重光・濱野光市 (2017), 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター構内ステーション農場の気象観測, 信州大学農学部 AFC 報告, 15 : 85-86.
- 2) 木下 渉・鈴木 純・小林 元 (2008), 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター手良沢山ステーションにおける気象データの収集, 信州大学農学部 AFC 報告, 6 : 87-89.
- 3) 千野敦義・酒井信一・木村和弘 (1984) 信州大学農学部および附属野辺山農場における気象観測結果とその解析(2), 信州大学農学部紀要, 21(2) : 149-194
- 4) 鈴木 純, 小林 元, 木下 渉, 春日重光, 濱野光市 (2020) 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター構内ステーション農場の2019年気象データ, 信州大学農学部 AFC 報告 18 : 103-104

受付日 2021年1月8日

受理日 2021年1月28日

表1 構内ステーション農場の気象年報 (2020年)

2020	雨量 (mm)	気温 (°C)					湿度 (%)				風速 (m/s)	日射 (W/m ²)										
		平均			最高の 極値	最低の 極値	平均		最高	最低												
		平均	最高	最低			最高	最低														
													平均	平均								
											982.0]	11.3	17.7	5.8	34.2	-12.0	96.5	49.7	100	13.8	1.2	153.8

表2 構内ステーション農場の気象月報 (2020年)

月	雨量 (mm)	気温 (°C)					湿度 (%)				風速 (m/s)	日射 (W/m ²)
		平均			最高の 極値	最低の 極値	平均		最高	最低		
		平均	最高	最低			最高	最低				
1	55.0	1.7	7.2	-3.1	14.4	-8.5	94.8	48.8	100.0	31.9	0.8	88.6
2	75.5	1.3	8.1	-4.8	17.7	-12.0	92.0	43.0	100.0	24.3	1.2	131.1
3	///	4.6	11.5	-1.9	20.2	-8.3	94.3	40.8	100.0	14.6	1.3	168.9
4	///	7.1	13.8	0.4	18.0	-4.5	93.6	40.6	100.0	13.8	1.4	203.0
5	///	14.9	22.3	7.6	28.6	-0.9	96.2	40.0	100.0	16.5	1.4	225.7
6	///	19.2	25.5	13.6	31.0	6.2	98.1	52.3	100.0	23.1	1.2	198.8
7	453.5	20.2	24.1	17.4	30.4	13.1	100.0	75.3	100.0	47.7	1.3	108.7
8	43.5	24.1	31.3	18.6	34.2	15.5	99.3	49.6	100.0	32.2	0.8	215.7
9	74.5	21.2	27.4	16.9	33.9	10.5	98.8	57.0	100.0	37.6	0.9	156.3
10	233.0	12.1	18.3	6.9	25.2	0.1	99.3	58.4	100.0	34.5	0.8	123.9
11	41.0	7.7	14.8	1.5	20.3	-3.5	97.5	47.6	100.0	19.9	1.3	124.6
12	6.0	1.5	8.3	-4.0	13.9	-9.7	94.2	42.7	100.0	25.5	1.5	100.4

Meteorological Data of University Farm, AFC, Shinshu University, 2020.

Jun SUZUKI^{***}, Hajime KOBAYASHI^{*****}, Wataru KINOSHITA^{***} and Shigemitsu KASUGA^{***}

^{*}Institute of Agriculture, Academic Assembly, Shinshu University

^{**}Department of Forest -Environmental Symbiosis, Faculty of Agriculture, Shinshu University

^{***}Education and Research Center of Alpine Field Science, Faculty of Agriculture, Shinshu University